

アジェンダ21すいた エコシター 1月号

新年のごあいさつ

皆様、あけましておめでとうございます。いつもアジェンダ活動にご理解、ご助力を賜りまして大変ありがとうございます。昨年は後世から見れば激動の年と見られる、そうした厳しい一年でした。人災、天災で苦しむ国内外、全ての方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

2015年に始まり2030年を目標年とするSDGsも本年はちょうど中間年となり、これからますます大きなうねりとなっていきます。

アジェンダ21すいたは、市の環境基本計画の具現化をめざし、地球を見据えて市内外の環境問題の解決を図ることを使命としています。こうしたつながりの視点も大事にしたいものです。

近江商人の哲学「三方良し（売り手良し、買い手良し、世間良し）」があります。それにならって「五方良し」、つまり「過去良し、自分良し、相手良し、世間よし（環境・社会）、未来よし」を思います。さまざまな連携を通じて問題解決をはかり、未来の吹田を楽しく創造する。

今年も明るく前進していきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

アジェンダ21すいた 代表 三輪信哉

もくじ

- ムーンライトコンサート HP・表彰式・エキスポ文化祭 …2
- ディオス北千里秋祭り …3
- 「マイクロプラスチックストーリー」映画上映会＋ワークショップ …4
- てまえどりキャンペーン …5
- 良永ゼミ（日本学生経済ゼミナール大会） …6
- 良永ゼミ（日本学生経済ゼミナール大会） …7
- 各種募集・イベント案内 …8



すいたムーンライトコンサート

当日は雨のためコンサートは中止しました。WEB上でのコンサートをお楽しみください。

WEB会場のQRコード



すいたムーンライトコンサートのポスター ありがとうございました

10月24日(月)、CATグループ大阪アニメーションカレッジ専門学校へ伺い、表彰式を執り行いました。最優秀賞の角倉さんから、「歴代のポスターデザインには無いものを！」という観点から制作しました。子どもから大人まで幅広く見てもらえるよう意識してデザインしました。」という内容のコメントをいただきました。学生の皆さま素晴らしい作品をありがとうございました。



エキスポシティ文化祭

11月23日、EXPO CITYとして初めての文化祭が1階光の広場で開催されました。アジェンダ21すいたも吹田市のブースの一角をお借りして、展示やSDGsへの取り組みの紹介をしました。あいにくの雨模様で、午前中は人出が少なかったのですが、工作をしたりクイズ・オリエンテーリングをしたりするコーナーがあったので、ご家族や友達と一緒に来られる方が、徐々に増えてきました。アジェンダ21すいたも、次回は展示だけでなく、参加型ワークショップを企画してもよいと思いました。



(温暖化防止プロジェクト 池淵佐知子)

ディオス北千里秋祭りにブース出展

北千里駅前のディオス北千里では、隔月第3土曜日にマルシェ+を開催していますが、環境に関する内容を実施したいとのことで出展依頼があったため、①家計を助ける省エネテクニック、②ガンバ大阪選手パネルの設置と写真撮影、という2つの内容でブース出展を行いました。

開催日の10月22日は北千里公民館においても市民文化祭が開催されて、その相乗効果があったこと、好天にめぐまれたことなどから、家族連れのお客さまを中心に多くの来場者がありました。我々のブースはステージのすぐ傍だったため、壇上でのダンスや演奏などの出演者、またそのご家族などの往来があり、立ち止まってくださる方も多かったです。

省エネ術のチラシを約450枚配布することができ、省エネクイズにも100名を超える子どもたちがチャレンジしてくれるなど、多くの方に省エネの大切さをPRすることができました。お声がかかるようなら、ぜひ次回も出展したいと思います。



来て下さった皆様
ありがとうございました!

(エネルギー部会 馬場慶次郎)

「マイクロプラスチックストーリー ぼくらが作る2050年」

映画上映会＋ワークショップ

12月17日、千里山コミュニティセンターにおいて「マイクロプラスチックストーリー ぼくらが作る2050年」の上映会を開催、参加は39名（うち3名が小学生）でした。

この映画は、ニューヨークブルックリンの5年生が、ニューヨークのNPOカフェテリア・カルチャーの指導により、海洋プラスチックのリサーチやデータ収集を重ね、市議会への報告や、地域で啓発活動を重ねるなど、彼らの2年間を追った長編ドキュメンタリーです。子どもたちの素朴な疑問に専門家が丁寧に答えていきます。2050年には、このまま何も行動を起こさないと、海のプラスチックの重量が魚よりも多くなるということが分かります。彼らは教育の力で、まず自分たちのカフェテリアでアクションを起こし、それをニューヨーク全体に広げて行きます。随所にアニメーション映像を用いてプラスチック汚染問題を解説しており、子どもから大人までわかりやすい内容になっています。

上映後は、大阪商業大学公共学部准教授で、NPO 法人プロジェクト保津川を主宰しておられる原田禎夫先生をファシリテーターに迎えワークショップを行い、プラスチック汚染に対して意見交換しました。原田先生は、京都・保津川の環境保全活動と、亀岡市での脱プラスチックに取り組み、この映画の日本語吹き替え版の制作にも関わって来られました。



<ワークショップでの意見や感想>

小学3年生の児童は「ぼくは地球環境を守りたいと思っていたけど、それを実行に移すことが大切と学んだ。映画が面白かった。全国の小学5年生に見せたらいいと思う。」小学4年生の児童は「月曜日から1週間、プラスチックを使わない生活をする。牛乳は前のビンのほうが好きだった。ストローをやめることを、すぐに行動する。」と、彼らも行動の重要性に気づいていました。映画鑑賞については、「吹田市民は皆見るべき」「教員の研修に使う」「学校で上映」など、鑑賞の機会を増やすことが大事という意見。衣類について、「洗うとマイクロプラスチックが出てくる。下水に行くことを知らなかった。」「やたら服を買わないようにしたい。」教育に関しては、「環境教育が大切だ。環境教育の重要度を上げて、子どもたちから学んで、取り組みをしてほしい。」など。「テレビで少し知っていたが、皆さんに周知させたい。」と啓発への意見も出ました。

少しの思いやりと勇気があれば、プラスチックに頼らない生活ができることを、この映画の主人公である小学生から教えられます。最悪の事態を避けるためには「今が転換期に来ている。」と原田先生は言っておられます。大事なことは私たちも行動を起こすこと、そして社会の仕組みを変えていくことと、この映画は語っています。

(資源部会 水川晶子)

すぐに食べるなら「てまえどり」

事業者・アジェンダ 21 すいた・吹田市の3者が取り組む「てまえどりキャンペーン」が2023年1月から始まりました。「てまえどり」は2022年の流行語大賞のトップ10にも選ばれるなど、食品ロス削減の取り組みとして注目を集めています。

食品ロスとは、本来食べられるのに、食べ残し、売れ残り、賞味期限が近いなどを理由に捨てられる食品のことで、2020年の推計値は日本全体で年間522万トン、家庭系では247万トン、事業系では275万トンにもなります。1人1日当たりお茶碗1杯の食べ物を、私たち日本人は捨てています。一方、世界で飢餓に苦しむ人々に対する食糧援助量は2020年で年間約420万トンとされています。なんとこの1.2倍に相当する量の食品が捨てられているのが現実です。これだけの食品が有効に利用できれば、この人々を救うことができます。

今回は、スーパーからイオン、光洋、コープこうべ、ダイエーの4社、またコンビニからはセブン・イレブンが参加して合計5社の協力により、1月を「てまえどりキャンペーン」期間としました。



レールポップ

小売店では商品棚の手前側に販売期限が短い商品を陳列することが多いのですが、消費者は棚の奥から取りがちで、販売期限が短い商品ほど棚に残り、食品ロスとなりやすいのです。そこで、買ってすぐ食べる場合は積極的に手前のものを選ぶ行動「てまえどり」を推奨します。食べる時期を考えて、売り場で商品を選んでください。

お店に掲示しているポスターやポップでは、PRキャラクターの『てまえどり』が「すぐに食べるならてまえどり」と消費者の皆さんに呼びかけます。

「食べられるものを捨てない」という、みんなの行動がSDGsに繋がります。

「てまえどりキャンペーン」は、これからも吹田市内で展開して行きます。



(ダイエー江坂駅前店)



(セブン・イレブン)

(食品ロス削減プロジェクト 水川晶子)

日本学生経済ゼミナール大会

私たち良永ゼミは、2022年10月23日（日）の日本学生経済ゼミナール大会に向けて新しいビジネスモデルを考えました。今回の記事では吹田市の皆様に良永ゼミ各班の研究内容について紹介したいと思います。

再配達班



私たち良永ゼミ再配達班は宅配便の再配達問題について注目しました。宅配便で取り扱われる個数のおよそ15%は再配達であり、再配達になる理由の6割は「いつ配達に来るか意識していなかったため、気がいたら来ていた。」「配達に来ることを忘れていた」といった理由です。現在、時間帯や日時指定、配達の通知メッセージなどのサービスはありますが、改善される見込みはないと考えました。

そこで、再配達を減らすための方法として次の2つを大会で提案しました。1つ目が、不在宅への配達数を削減できる最適な配送ルートを生AIによって作成すること、2つ目が、コンビニ受け取りや駅の宅配ロッカーといったように自宅以外での受け取り方法を推奨することです。

再配達を削減できれば、CO₂を年間約42万トン削減でき、再配達に要するドライバーの年間約1.8億時間の労働時間や9万人のドライバーの労働力を削減することができるのです。

人工知能AIという新たな技術を駆使するだけでなく、受け取り側の意識も変えることによって、環境にやさしいスマートな社会の実現に繋がるのではないかと思います。

アパレルゴミ班



良永ゼミアパレルゴミ班は「服ロスのない社会を目指す」をテーマに発表を行いました。私達はファストファッションの流行による衣服の大量生産、大量廃棄がなぜ問題なのかについて調査しました。調査の結果、衣服の製造から廃棄までのライフサイクルで大量の二酸化炭素と水を汚染することや安全確保が出来ていない劣悪な労働環境で働いている労働者がいることがわかりました。これらの環境問題、労働問題を解決するため、私達はケミカルリサイクルとAIを用いた在庫管理を行い衣服の過剰廃棄を改善することを提案しました。ケミカルリサイクルとは使用済み資源化学的に処理し、ほかの化学物質に転換して再利用する半永久的循環型リサイクルシステムであり、服を廃棄するのではなく新しい服に生まれ変わらせることができます。しかし、ケミカルリサイクルだけでは労働問題を解決することができないため、同時にAIによる国内在庫管理システムも導入し、適切な生産量を目指しファストファッションの流行による現在の大量生産、大量廃棄のシステムから脱却しようと考えます。また、これらの循環型社会を目指す取り組みを行うための資金は、衣服の廃棄税の導入により確保することができます。しかし、私達の提案が実現されたとしても、アパレル業界にはまだまだ課題が残っています。みなさんで環境に配慮した服選びを行いより良いファッションライフを送りましょう！

日本学生経済ゼミナール大会

食農班

良永ゼミ食農班は日本の農業衰退に注目し、原因を調査し、独自に解決策を提案いたしました。これまで、未来の日本農業に対して危機意識を持ち、企業訪問や農業体験をした先輩へのインタビューなどを通じ、真の課題を徹底的に考えてきました。共通して意見が上がった若者の農業離れが課題だと認識しました。そこで解決策として、「ファーミング・ホリデー」を提案しました。主に2点に注力し解決策を練りました。1点目は“興味が無い若者”に如何に農業に触れる仕組みを作り出すことができるかです。2点目に若者だけでなく、ファーミング・ホリデーを行う企業・旅行代理店、農家の方、それぞれの視点でメリットを考え、具体的かつ実現可能性の高い解決策を作ることを大切にし、力を注ぎました。しかし未だ私たちの力だけで農業を大きく変えることに難しさを感じています。

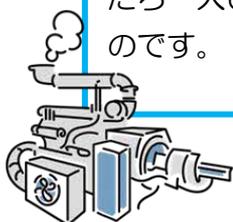
この発表を通じて1人でも多くの方が農業に関心を持つきっかけとなれば良いなと思いました。



エネルギー班

良永ゼミエネルギー班は再生可能エネルギーの中でも水力発電について注目して、大会で発表しました。太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスといった再生可能エネルギーは、温室効果ガスを排出せず、国内で生産できることから、エネルギー安全保障にも寄与できる有望かつ多様で、重要な低炭素の国産エネルギー源です。また、水資源に恵まれた日本では、発電への利用も昔から盛んで、国内でまかなうことのできる、貴重なエネルギー源となっています。水力発電といえば大きなダムを想像しますが、近年は中小水力発電の建設が活発化しています。また、中小水力発電であるマイクロ水力発電はダムを利用した大規模な水力発電に比べ規模が小さく、河川、下水処理、農業用水といった水流を利用して発電できます。高層ビル、学校、病院の排水、洗面台、トイレの洗浄水までも利用することからマイクロ水力発電は高いポテンシャルを秘めているため、マイクロ水力発電を普及することが日本の化石燃料に対する依存から脱却する一番の近道ではないのかと考えます。

再生可能エネルギーの普及率は徐々に上昇し、興味関心を持つ人たちが増えています。しかし、普及状況は十分ではありません。再生可能エネルギーがよりひろまるためには私たち一人ひとりの取り組みが重要だと考えます。知ることが地球の未来への第一歩となるのです。



各種募集・イベント案内

◇カマキリ博士の昆虫教室～ごみ拾いと生き物のはなし～◇

カマキリ博士と一緒に、道路等に落ちているごみが生き物に与える影響を考えたり、メイシアター周辺でごみを拾ったりしながら冬の虫を探します。

- ◆とき／令和5年2月25日（土）13時30分～15時30分（受付13時00分～）
- ◆場所／メイシアター 集会室 ◆参加費／無料
- ◆講師／昆虫科学研究センター ISRC 代表 渡部 宏 氏
- ◆対象／4～10歳程度の子供とその保護者
- ◆定員／4～10歳程度の子供20人（保護者同伴。応募多数の場合は抽選）
- ◆持ち物／雨天時は、工作をするので、色鉛筆、のり、はさみを持ってきてください。
- ◆申込／令和5年2月10日（金）までに、QRコードより
- ◆問合せ／吹田市 環境政策室 資源循環担当

[TEL] 6384-1702 [Mail] k_genryo@city.suita.osaka.jp

吹田市 HP



◇身のまわりの自然観察会◇

季節の変わり目に講師とともに公園で自然を楽しみましょう。親子での参加も歓迎です。小雨決行。

- ◆とき／令和5年3月21日（火・祝）10時00分～12時00分
- ◆場所／千里南公園 南西入口（シェアサイクル置場前） ◆参加費／無料
- ◆講師／菅井 啓之 氏 ◆定員／先着30人
- ◆申込／令和5年3月1日（水）から、電話もしくはメールで氏名、電話番号をアジェンダ21 すいた事務局（吹田市 環境政策室内）へ
- ◆問合せ／アジェンダ21 すいた事務局（吹田市 環境政策室内）

[TEL] 6384-1782 [Mail] env-keihatsu@city.suita.osaka.jp

アジェンダ21 すいた会員募

アジェンダ21 すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。地球温暖化防止や食品ロス削減をはじめ、様々な取り組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、アジェンダ21 すいた事務局まで【アジェンダ21 すいた事務局】

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL 06-6384-1782

FAX 06-6368-9900



アジェンダ21 すいた HP

●編集後記

1月号のエコレター編集も携わらせていただきました、良永ゼミです。プレゼン大会が終わって後輩に引き継ぐ時期になり、今回の号が最後の編集となりましたが、このエコレターを通じて吹田市の皆様から色々と学ばせていただくことができました。また、この学びを少しでも自分たちの今後の大学生活に活かしていければいいなと思います。このエコレターを通じて、吹田市の環境に対する取り組みを更に勉強していただけますと幸いです。短い間でしたが、ありがとうございました。

【良永ゼミ 獅々堀、鷺岡、奥村、奥野】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS